

船舶事故等調査報告書

平成27年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014仙第67号
事故等種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成26年7月13日（日） 11時40分ごろ
発生場所	青森県外ヶ浜町平館 ^{たいらだて} 漁港東方沖 外ヶ浜町所在の平館港東防波堤灯台から真方位097° 1.4海里 付近 （概位 北緯41°09.3′ 東経140°40.3′）
事故等調査の経過	平成26年8月26日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート マロン marron、0.8トン
船舶番号、船舶所有者等	212-06844青森、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者2人を乗せ、釣りの目的で平館漁港東方沖を北進中、平成26年7月13日11時40分ごろ、船長が主機（船外機）に違和感を覚え、点検したところ、冷却水が排出されていないことを認めたので、主機を停止し、118番通報して救助を要請した。 本船は、来援した巡視艇にえい航されて平館漁港に入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風速 約2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	船長は、本船を、1か月当たり2～4回、釣りの目的で使用していた。 船長は、出港前、船外機を始動後、冷却水の排出状況を点検し、異常がないことを確認した。 本船は、本インシデント後、修理業者によって点検された結果、船外機冷却水ポンプのゴムインペラに損耗が認められた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	あり
気象・海象等の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、平館漁港東方沖を北進中、船外機冷却水ポンプのゴムインペラが損耗したことから、冷却水量が不足して船外機の運転を継続できなくなり、運航不能となったものと考えられる。

原因	本インシデントは、本船が、平館漁港東方沖を北進中、船外機冷却水ポンプのゴムインペラが損耗したため、冷却水量が不足して船外機の運転を継続できなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 船外機の冷却水の排出状況を常に点検するとともに、定期的に冷却水ポンプのインペラの点検を行うこと。